

ファティマ (Fátima)、世界一の祭壇への旅

について



写真: Fátima

ファティマ (Fátima)、世界一の祭壇への旅

ファティマ (Fátima) にある聖堂は、世界中の巡礼者が訪れる、聖母マリア信仰における最も重要な場所の1つです。

コヴァ・ダ・イリア (Cova da Iria) にあるファティマ聖堂の場所は、ファティマ教会区のオウレン自治体の中では1917年まで知られていませんでした。その年、何よりも重要な宗教的出来事とその歴史を変えました。3人の小さな羊飼い、とルチア (Lúcia) と彼女の二人の従兄弟、フランシスコ (Francisco) ヤシнта (Jacinta) がロザリオの聖母マリア (Nossa Senhora do Rosário) の出現を目の当たりにしたのです。当初、人々の崇拜にも関わらず、教会ではこの出来事を疑いの目で見ており、1930年までレイリア主教から承認されませんでした。後年、この村の開発が進むと、1977年、ファティマ (Fátima) には町として、また1997年には市としてのステータスが与えられました。

この聖堂の世界的知名度は、ファティマの聖母マリア (Nossa Senhora de Fátima) の敬虔な信者であるヨハネ・パウロ2世がローマ教皇であった時期に高まりました。教皇は1982年この地を訪れ、その前年の暗殺事件が未遂に終わったことに感謝したのです。2000年、3度目の訪問で、教皇はヤシнта (Jacinta) とフランシスコ (Francisco) の列福を宣言します。ヴァチカンには彼らによる奇跡的な治癒を祝福しました。

最初の出現は5月13日に起こり、10月まで毎月同じ日に起こりました。この日はファティマ (Fátima) の主要な記念日となっています。最も重要なイベントの1つとして、5月12日のろうそくの行進があります。この日、広い聖堂広場を埋め尽くす忠実な信者らが手にした数千本のろうそくが、聖餐とこの場所への信仰心に溢れた魔法のような雰囲気を作り出します。この日は13日の別れの行進と同じくらい重要な行事です。

ですが、毎月、特に12日と13日には、それぞれの信仰に導かれて何千人もの巡礼者がファティマ [Fátima] を訪れます。彼らはポルトガル各地から集まり、多くの人が田舎の細道や小道を歩いて徒歩で旅します。こうした人の動きを支援するために、4つのファティマへの巡礼ルート (テージョルート、北部ルート、ナザレ [Nazaré] ルート、海岸沿いルート) が道路案内標識で示されており、地面に描かれた印を辿るだけで、各地域に詳しくない方でも迷うことなく巡礼することができます。

この聖堂の壮大さ、霊性、そして象徴性を目の当たりにすれば、信仰心を持たない人でも、無関心ではられないでしょう。

祈りの場所に入ると、奥に高さ65メートルの、ファティマのロザリオの聖母マリアのバシリカ (Basílica de Nossa Senhora do Rosário de Fátima) が見えてきます。中央には、イエスキリストの聖心のモニュメントがあります。また一方には、出現の礼拝堂 (Capelinha das Aparições) があります。この場所こそ、聖母マリアが3人の小さな羊飼いたちに礼拝堂を建てよと命じた場所なのです。

反対側の奥には、2007年に創立されたモスト・ホーリー・トリニティー教会 - レッサーバシリカ (Igreja da Santíssima Trindade - Basílica Menor) があります。中間の支柱のない現代的な建築物で、約8700人を収容できます。設計は、ギリシャ人建築家のアレキサンドロス・トンバジスによるもので、他にもポルトガル人のアルヴァロ・シザ・ヴィエイラ (Álvaro Siza Vieira) やペドロ・カラパス

(Pedro Calapez)

ら、芸術家も貢献しています。外には、ドイツ人のロバート・シャドの手になるブロンズのトール・クロスがあります。

聖堂の他、この地域では宗教美術館、ファティマ民族学博物館、蠟人形館、ファティマ1917年奇跡博物館、キリスト生誕図とベツレヘムの村の活動像を見学できます。

アルジュストレル (Aljustrel)

は小さな羊飼いたちが生活していた村で、南に2キロほどの場所にあります。この物語を再現したい場合は、ロカ・ド・アンジョ (Loca do Anjo) とヴァリーニョス (Valinhos) や、出現に関係する他の場所にお出かけください。

この地域について知るためには、レイリアを通過するルートをお勧めします。サン・ペドロ・デ・モエル (São Pedro de Moel) とナザレ (Nazaré) のビーチの間の海岸沿いのルートです。また、世界遺産にも登録されている2つのモニュメント、バターリャ (Batalha) 修道院とアルコバッサ (Alcobaça) 修道院も通ります。

お役立ち情報

実施される日常的なセレモニー、巡礼者を支援するサービスもあり、ファティマに通じる巡礼者道の国内ネットワークなどに関するお役立ち情報は、聖堂のウェブサイトから入手できます。 www.santuario-fatima.pt
リスボンからの巡礼者はテージョへの道を進んでください。5日間かかるルートで、車のほとんど通らない田舎道を1日20～30キロ歩きます。

ポルトガルでのマリア崇拜、そしてファティマ[Fátima]の聖母への奉献についての詳細は、www.pathsoffait.comをご覧ください。

行き方

お車でお越しの場合には、ファティマはオウレン (Ourém) から11キロ、レイリアから25キロ、リスボンから120キロ、ポルトから180キロの場所になります。A1道路が主なアクセスですが、国道 (EN) からもアクセスできます。

公共交通機関の場合、バスでの移動が最適です。ルート運行は Rodotejo (www.rodotejo.pt) と Rede Expressos (www.rede-expressos.pt) が担当しています。